

子どもをまるごととらえることから教育は始まる

「教育のつどい 2010in 和歌山」を成功させる会会長 市川純夫さん

和歌山での集会にご参加いただきました皆様を、心より歓迎いたします。

さて、現在、社会では、競争と評価のシステムがいきわたり、教育の世界でも、見えやすい表面的な「成果」主義に振り回され、教育の本質である子どもが力をつけていくプロセスが軽視されてしまいがちになっています。

ここ和歌山では、「子どもをまるごととらえることから教育は始まる」という合言葉のもとに、同和教育の歴史に立って、つづり方教育、生活指導、各教科の教育、障害児養育、体の教育などの実践を深めてきました。

今まさに、医療の世界では、「病気を治すのではなく、患者さんを治すのだ」ということが言われていますが、教育においても、子どもを「学力」「体力」「道徳」などの部分に切り刻んで、それを寄せ集めれば教育が成り立つといったものではなく、目の前の子どもをまるごととらえ、子どもに直接責任を負う教育実践をしなければならない情勢にあると思います。

そんな教育研究を深めあう集会になることを願っています。